

子どものための より良い コミュニケーション

前号では子どもと親のコミュニケーションが、最も基本的な人間関係である親子の絆を深める効果があることやコミュニケーションを図るときのコツなど、「子どもとのコミュニケーション」についてお伝えしました。

今号では、学校や地域、家庭でのより良いコミュニケーションが、子育てのノウハウを得ることや、子どもを取り巻く環境を良くすることなど、子どものより良い育ちにつながることから、子どもが主にかかわる学校や地域とのコミュニケーションについてお伝えします。

また、今号の作成にあたっては、公募しました作成委員の皆様へ、子どものためのより良いコミュニケーションについて考えていただきました。

作成委員さんのアイデアを参考に、皆さんもコミュニケーションについて今一度考えてみませんか。

Communication

「コミュニケーション」の 目的とは？



気持ちを
楽にするための
もの

人生を楽しく
過ごすための
もの



コミュニケーションのポイント

- 子育ての悩みや疑問などは、先輩ママなど周囲の人と共有すること（同じことで悩む人は多いかも）
- コミュニケーションの目的を達成するために大切なことは、相手と顔を合わせること（メールでのやり取りより、十分なコミュニケーションを図ることができます）
- 相手のことを考えつつ、自分の気持ちも伝えるようにすることなど

学校や幼稚園、 保育園との コミュニケーション



事例①

小1の子どもがけんかをして帰ってきました。腕には軽いアザが残っています。話を聞くと、学校で友達とのトラブルがあったようです。



子どもにとって一日の大半を過ごすことになる学校や幼稚園、保育園とはより良い関係を築いていきたいものです。よくある事例を通して、日頃のコミュニケーションをふりかえってみませんか。

- 学校での出来事で分からないことは、まずは担任の先生に相談します。（相談しにくい場合は、学年主任や副校長に相談することもできます。）
- 相手の子の状況にも気にかけてほしいものです。

ポイント

- 親として子どものけがは非常に心配ですが、子どもの話をよく聞いたうえで、客観的な視点を持ちたいですね。